

平成26年 7月 9日

八街市議会議長 林修三様

会派名 誠和会
代表者名 中田眞司

先進地視察報告書

先進地視察の概要を下記のとおり報告します。

記

1. 視察者名

- ・中田眞司
- ・湯浅祐徳
- ・小高良則
- ・山口孝弘
- ・林修三
- ・石井孝昭
- ・木村利晴
- ・小山栄治
- ・小菅耕二
- ・鈴木広美
- ・長谷川健介

2. 視察期間

平成26年7月29日(火)～平成26年7月31日(木)
(3日間)

3. 視察先及び視察目的

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------|
| (1) 7月29日(火) | <u>府中</u> 町 | <u>教育行政について</u> |
| (2) 7月30日(水) | <u>呉</u> 市 | <u>農業再生について</u> |
| (3) 7月31日(木) | <u>三原</u> 市 | <u>自主防災組織について</u> |

4. 視察報告

(1) 府中 町 教育行政中道徳教育について

◆市の概要

広島県府中町は周囲が広島市に囲まれた飛び地で面積当たりの人口密度は日本一です。面積は10,45平方キロメートルです。広島市のベットタウンとして住宅地に良敵な為急激に発展をし、田畑は殆ど宅地化され近代化が進む中マツダ株式会社を中心に多くの工場が発展し様々な整備が行われ近代都市として町づくりが進められております。

◆視察時の状況

①視 察 日 平成26年7月29日 (火)

②視 察 時 間 午後1時30分～午後3時00分

③視 察 会 場 委員会室

④応対者職氏名 議会事務局 大神 森、議長 中村

⑤説明者職氏名 主事ナカボウ、府中中学校カワニシ、教育次長モツダ

⑥写 真 添 付 別紙に添付 視察風景、庁舎前

◆視察先調査事項の概要

府中町では平成25年度は広島県小・中・高等学校道徳教育実践研究事業を平成26年は広島県「道徳教育改善・充実」総合対策事業を多年に渡り道徳教育に力を注いでいます。主目的として自己肯定感、自己有用感を育成し自尊感情の向上から進路への意欲の向上を目指しています。取り組みとしては①小中校連携の組織づくり②道徳の時間の授業改善③体験活動の充実④家庭との連携で組織図作成、合同研修会、実践「学び合い」より成果と課題を定義し今後の取り組みを検討してゆくとのことでした。

◆調査事項に対する会派視察目的

会派として議会に於いて幾度も道徳教育の重要性について質問しております。八街市の取り組みには理解しますが、さらに向上を図るべき考えで先進地視察を検討する中で府中町を選びました。

◆市政との関連性（視察地選択の理由等）

府中町の府中中学校区が広島県の平成26年度「道徳教育改善・充実」総合対策事業に指定されている事に着目しました。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

授業時数は最小で行える。担当職員は1名ですが専門で集中して事業にあたっている。学力も向上している。本市とも情報交換をすべきと思えた。

(2) 吳市 農業再生事業について

◆市の概要

穏やかな瀬戸内海と温暖な気候風土に育まれた自然豊かなまち。

瀬戸内海の島々にまで広がった”新呉市”では、海・山に囲まれ自然が満喫できるスローライフや市街地ではにぎわいがあり利便性の高い暮らしができるシティライフと様々なライフスタイルが楽しめます。

◆視察時の状況

- ①視察日 平成26年7月30日 (水)
- ②視察時間 午前10時00分～午前11時30分
- ③視察会場
- ④応対者職氏名 議会事務局 平川、副議長 林
- ⑤説明者職氏名
- ⑥写真添付 添付に添付 視察風景、庁舎前

◆視察先調査事項の概要

急傾斜地等農地を守る為の事業に取り組んでいる点を視察しました。

◆調査事項に対する会派視察目的

八街市の基幹産業は農業で様々な観点より研鑽を重ね向上していかなくてはなりません。そこで、呉市の農地面積は少ないのですが、農地保全事業を行っております。保全に関し注目しました。

◆市政との関連性（視察地選択の理由等）

八街市の基幹産業は農業である事。
補助金を交付している事。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

急傾斜等条件の不利な農用地に対し国土の保全等農用地の多面的機能を確保すべき観点より補助金を交付している。また、定住者対策とセットで農業者の確保を進めている。農地水環境保全対策事業は農村環境保全支援をしている。営農に資する農業施設の維持補修等に要する原材料を支給している。地域農業の核となる認定農家へ農地集積を進める為、農地の貸し手に補助金を交付している。（優良農地25000円/10a、遊休農地40000円/10a）

(3) 三原市 自主防災組織について

◆市の概要

三原市は、2005(平成17)年3月22日に、三原市、本郷町、久井町、大和町が合併して出来た新しい市です。人口は106,229人、世帯数38,499世帯(平成12年国勢調査)、広島県の中央東部に位置し、面積は471km²で、広島県の5.6%を占めています。また、中国・四国地方のほぼ中心にあり、当地方の各地域と連携する上で恵まれた地理的条件を有しています。

新市のまちづくりの基本となる新市建設計画では、「一人ひとりが輝くまち」「幸せを実感できるまち」「活力を生み出すまち」の3要素から構成されるまちづくりの理念を示すキャッチフレーズとして、『海・山・空 夢ひらくまち』を定め、地域の個性的な歴史・文化、豊かな自然、恵まれた交通条件を活かし、すべての人が生き生きと幸せに暮らせるまちを実現することをめざします。

◆視察時の状況

- ①視 察 日 平成26年7月30日 (水)
- ②視 察 時 間 午前10時00分～午前11時30分
- ③視 察 会 場 委員会室
- ④応対者職氏名 議会事務局 菊田、議長 分野
- ⑤説明者職氏名 危機管理化 向井
- ⑥写 真 添 付 別紙に添付 視察風景、庁舎前

◆視察先調査事項の概要

自主防災組織について

◆調査事項に対する会派視察目的

八街市の自主防災組織を広めるにあたりどの様な施策か?、予算は?、進捗は? 人命、財産を守るべき出来る事は何かを探るべく現地にて生の声を聞く目的

◆市政との関連性(視察地選択の理由等)

近年の大規模災害発生で市民視線は過敏になっておりよりきめ細かい防災組織づくりをしている所に着目しました。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

ハザードマップは津波を想定ししっかりしたものが配布されている。

自主防災組織の防災訓練マニュアルがあり、市民が訓練をしやすくなっている。

防災設備等整備事業助成金がしっかり予算計上されている。

組織率が非常に高い。

戴いた資料やお話から市民の共助の理解が高く市民が正面よりとらえている事がうかがえる。すべてが参考になり伝え広げたく思います。

行政視察集合写真

- 1、広島県府中町
- 2、広島県呉市
- 3、広島県三原市



